

第3回 医療機器市民フォーラム

ある日突然、あなたがケガや病気に 見舞われたら…

— 救急時の医療と医療機器 —

「自分や家族が突然倒れたり事故に遭遇した時、
どのように救急処置され治療されるのか」。

そのような救急医療への関心が高まっています。

一方、救急医療の第一線の現場で数多くの医療機器が活躍し、人命救助に貢献しています。

このフォーラムでは脳卒中や心臓病など、

救急時の医療に関する正しい予備知識や処置について説明しながら、

それを支えている医療機器の現状をご紹介します予定です。

2008年 1月 12日 (土)

14:00～17:15 (開場13:30)
※途中入場はできません。

有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11F

<http://www.asahi-hall.jp/yurakucho/access/index.html>

参加無料
定員
600名

本市民フォーラムの参加については、以下の3つの方法でお申し込みできます。
郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業を明記の上、ご応募ください。

※ハガキ、FAXをご利用の場合は1通につき2名様までお申し込み頂けます。その際は2名様分の必要事項を明記してください。
インターネットから申し込まれる場合は備考欄にもう1名様分の必要事項を入力してください。

ハガキ 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-3-7 三建ビル八丁堀3F
株式会社マックス内「医療機器市民フォーラム事務局」

F A X FAX:03-3523-6478
「医療機器市民フォーラム事務局」係と明記してください

インターネット フォーラム事務局 ホームページ ▶ <http://www.macs-inc.com/forum/>
医機連 ホームページ ▶ <http://www.jfmda.gr.jp/metis/event/>

申込締切:12月25日(火) 必着

※応募多数の場合は抽選となります。当選者の発表は招待状の発送をもって代えさせていただきます。
応募いただいた方の個人情報は、招待状発送のために利用します。

お問い合わせ:医療機器市民フォーラム事務局 TEL:03-3523-6537 (10時～17時、なお土日祝除く)

主催:日本医療機器産業連合会/医療技術産業戦略コンソーシアム(METIS)

後援:厚生労働省、経済産業省、文部科学省(予定)

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

 サクラ精機

 **TERUMO**

プログラム

13:30～	開場
14:00～15:30	プログラムコーディネーター挨拶 相川 直樹氏(慶應義塾大学医学部 救急医学 教授) 第1部:講演 「ある日突然、あなたがケガや病気に見舞われたら…」 ～頭のケガや脳卒中、心臓病他～ 有賀 徹氏(昭和大学医学部 救急医学 教授) 堀 進悟氏(慶應義塾大学病院 救急部長 准教授)
15:30～15:45	実演 「救命救急の処置」
15:45～16:00	休憩
16:00～17:15	第2部:パネルディスカッション 有賀 徹氏(昭和大学医学部 救急医学 教授) 堀 進悟氏(慶應義塾大学病院 救急部長 准教授) 土橋 裕子氏(東京消防庁 救急部救急医務課) 石井 苗子氏(女優・東京大学医学部 客員研究員) 司会・コーディネーター 田辺 功氏(朝日新聞編集委員)

※途中入場はできません。※プログラムの内容は変更になる場合があります。

マップ



有楽町朝日ホール

- JR線有楽町駅中央口または銀座口
 - 東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅C-4出口
 - 東京メトロ(有楽町線)有楽町駅D7a、D7b出口
- いずれも徒歩1～2分

講演・パネルディスカッション



プログラムコーディネーター

相川 直樹氏
慶應義塾大学医学部
救急医学 教授

1944年生まれ。1968年慶應義塾大学医学部卒業(首席)。慶大外科学、ハーバード大学研究員、MGH外科臨床フェロー、慶大助教授を経て1992年より現職。北里医学図書館長、慶應医師会長、慶應義塾大学病院長、日本救急医学会会長・国際熱傷学会会長・日本ショック学会会長等を歴任。米国大使館医療顧問。米国外科学会名誉会員。ハーバード賞、ウイティカ国際熱傷賞、消防長官賞等を受賞。

講演・パネリスト



有賀 徹氏
昭和大学医学部
救急医学 教授

1950年生まれ。1976年東京大学医学部卒業。東京大学医学部脳神経外科学教室、同附属病院救急部、日本医科大学附属病院救命救急センターなどを経て、1984年公立昭大病院脳神経外科主任医長、1990年同救急部長、その後、1994年より現職。昭和大学病院救命救急センター長、同副院長。日本救急医学会理事、日本臨床救急医学会代表理事、日本外傷診療研究機構構理事長など。

講演・パネリスト



堀 進悟氏
慶應義塾大学病院
救急部長 准教授

1950年生まれ。1975年慶應義塾大学医学部卒業。同大学呼吸循環器内科、済生会宇都宮病院救命センター勤務を経て1988年から慶應病院救急部副部長、2005年から現職。日本救急医学会ER検討特別委員会委員長。日本臨床救急医学会理事。専門領域は救急医学、循環器病学、興味領域は救急医療体制、入浴事故、失神、医学教育。

パネリスト



土橋 裕子氏
東京消防庁
救急部救急医務課

1962年生まれ。千葉県出身。大妻女子大学短期大学部卒業後、1982年東京消防庁入庁。1998年救急救命士国家試験に合格し救急救命士として乗務。2002年東京消防庁女性初の救急隊長として城東消防署に着任。2006年東京消防庁消防学校主任教官などを経て2007年より現職。

パネリスト



石井 苗子氏
女優・東京大学医学部
客員研究員

ワシントン州立大学に留学、上智大学に編入・卒業後、同時通訳。1988年「CBSドキュメント」初代キャスターとしてマスコミデビュー。1990年故伊丹監督の映画「あげまん」で女優デビュー。その後、キャスター・女優としてテレビ、映画で活躍。1997年聖路加看護大学に入学。卒業後、2002年東京大学大学院(医学系研究科)に進学。修士課程を経て、2007年3月に博士課程を修了。同年4月から同大学医学部客員研究員。

司会・コーディネーター **田辺 功氏**(朝日新聞編集委員)